

# 第2期沖縄県スポーツ推進計画

世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成に向けて



令和4年3月  
沖縄県

## 計画の策定の基本的な考え方

### はじめに

本県においては、「沖縄県スポーツ振興基本計画」に替わる新たな計画として平成25年度から令和3年度までの9年間を対象として「沖縄県スポーツ推進計画」（以下、「県第1期推進計画」という。）を策定し、今後のスポーツ振興のあり方、スポーツ活動の普及・推進による活力ある地域社会の形成及び新たな産業の振興について、基本的な方向性を示しました。

また、令和に入るとラグビーワールドカップや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国中が感動と興奮に包まれたなかで、東京2020大会には県内からも12名の選手が出場し5つのメダル獲得がありました。さらに、令和5年にはFIBAバスケットボールワールドカップ2023が本県で開催されることから、スポーツを通じた地域振興、交流の拡大とともにスポーツへの関心がますます高まっていくことが期待されています。

一方で国においては、令和4年3月に「第3期スポーツ基本計画」（以下「国第3期基本計画」という。）を策定し、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策として「持続可能な国際競技力の向上」や「共生社会の実現」、「多様な主体によるスポーツ参画の促進」、「地方創生・まちづくり」などを重点事項とし、スポーツを通じて活力ある社会づくりに取り組むことが期待されています。

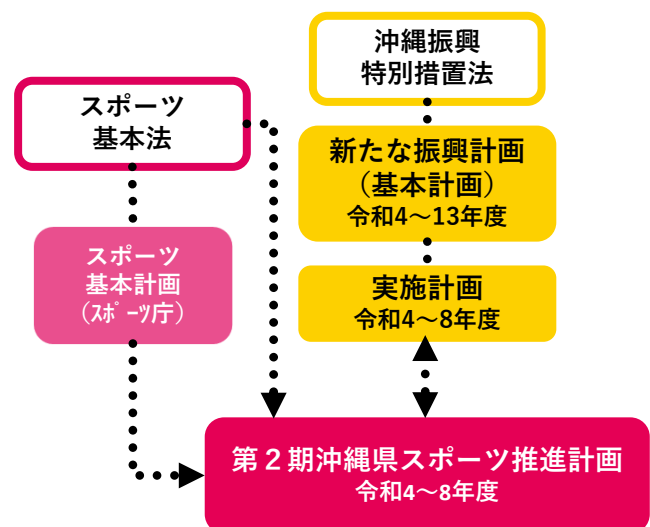
沖縄振興計画である「新たな振興計画」においてスポーツ関連施策は、世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成を位置付けており、その実現に向けた個別計画として今後の5年間を計画期間とする「第2期沖縄県スポーツ推進計画」を策定することになりました。

### 計画の位置付け

本計画は、沖縄振興計画としての性格を併せ持った「新たな振興計画」に基づくスポーツ分野における計画であり、スポーツ基本法第10条第1項に定める地方スポーツ推進計画として位置付けています。

### 計画の期間

本計画の期間は、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間とします。



沖縄県観光振興基本計画 / 沖縄県教育振興基本計画  
沖縄県生涯学習推進計画 / 沖縄県健康増進計画  
沖縄県障害者基本計画 / 沖縄空手振興ビジョン  
沖縄県自転車活用推進計画 等

SDG s を踏まえた計画の推進

本計画に基づく各施策は、SDG s の目標の達成に資するものであることから、施策ごとに深く関連するSDG s の目標を示しています。

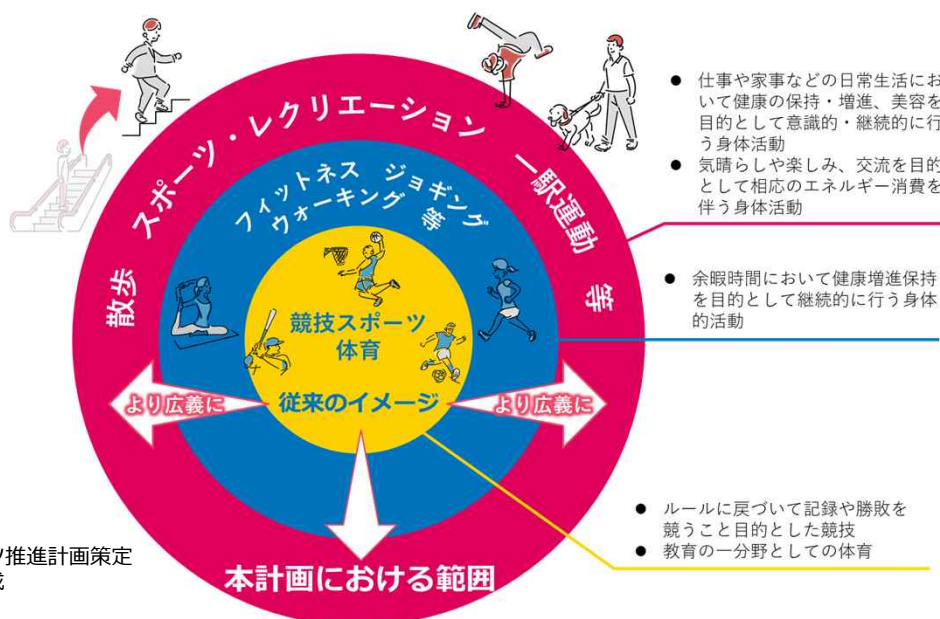
計画におけるスポーツの捉え方

平成23（2011）年に公布されたスポーツ基本法において「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と記されています。こうした趣旨を踏まえ、県第1期推進計画においても様々なスポーツ施策を展開してきました。

また、スポーツ基本法において、スポーツは「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と広く捉えられており、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」とされています。

今後「スポーツ」をより成熟させていくうえで、近年ではスポーツの価値や力が認められ、スポーツが語られ、活用される場面や機会はますます増え、「スポーツ」という言葉に含まれる意味はより多義的になっていくことが予想されます。

上記に加え、国第3期基本計画における定義の整理も参酌し、本県においても、「楽しさ」や「喜び」に根源を持つ、心身の健康等のために自発的に行われる身体活動を広くスポーツと捉え、本計画を推進します。



第2期沖縄県スポーツ推進計画策定にあたり沖縄県が作成



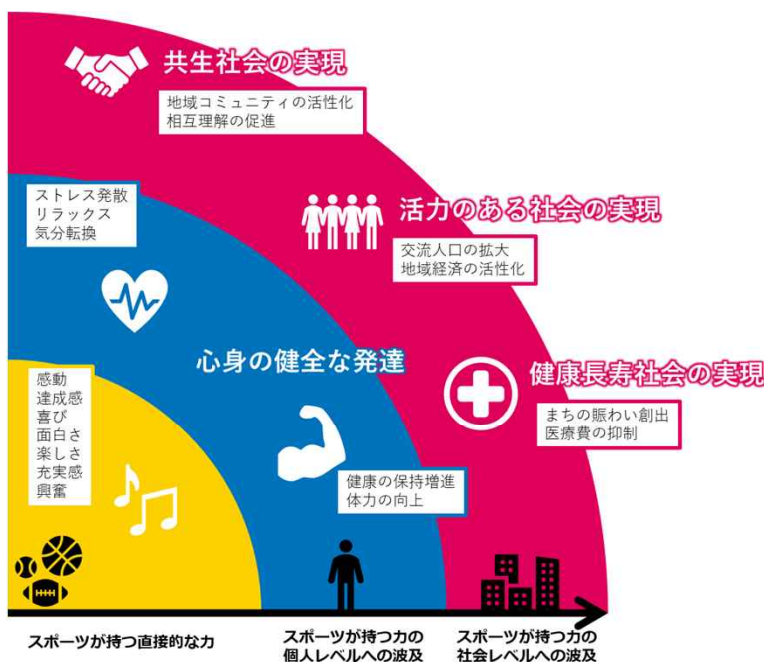
## スポーツの価値

県第1期推進計画においては、スポーツ文化の醸成に向けて、スポーツが有する価値を広め、県民のスポーツ実施率向上に取り組む等、「スポーツ振興」を推進してきました。

スポーツの価値は今般のコロナ禍における社会でも再確認されました。世界的に、新型コロナウイルスの影響のもと、スポーツが、「不要不急」のものであるかのごとく扱われ、日々の生活から失われたり、制限されたりすることで、心身の健康保持への悪影響、閉塞感のまん延、日頃の成果発表の機会の喪失などの影響が生じました。

また、日本のスポーツ市場は2018年時点で約9.1兆円の市場規模を有しており、今後2025年時点で15兆円を目指しさらなる拡大を図っていくなかで、その収益をスポーツ環境の改善に還元し、スポーツ参画人口の拡大につなげるという好循環を生み出すことが更なるスポーツ市場の拡大につながります。本県においても新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたスポーツコンベンション等を再び活性化させるとともに、成長産業化への道筋を明確なものとする事が求められています。

これらを踏まえ、本県においては「県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備」（インナー施策）と「スポーツ関連産業の振興と地域活性化」（アウター施策）という2つの施策をバランスよく進めていきます。両施策はそれぞれが独立した目標として達成されるものではなく、両施策を跨ぐ取組や相互に作用・循環する取組等により、密接に相関しながら、スポーツの価値がより広い範囲に波及していくことを目指します。



第2期沖縄県スポーツ推進計画策定  
にあたり沖縄県が作成

## 第2章

# 沖縄県のスポーツを取り巻く環境の変化



### 人口構成の変化

これまでは増加基調も  
**令和12(2030)年をピークに減少**に転じる見込み  
高年齢化率は徐々に高まり令和27(2045)年には  
**31.4%**に

### 家族構成の変化

1世帯あたりの人員は減少傾向、令和2(2020)年  
には2.39人/世帯  
**単独世帯**は令和22(2040)年までに**1.7倍増加**



### 健康状態の変化

令和元(2019)年には健康寿命は男性が**26位**から**40位**へ  
女性が**10位**から**25位**へ順位を下げた  
**沖縄県の医療費**は高齢化の進展に伴い**今後も増加**

### 社会状況の変化

日本開催の国際大会が続き、  
2023年には本県を会場とした**FIBAバスケット  
ボールワールドカップ2023**が開催予定であり  
スポーツに対する機運が高まる



### その他環境の変化

スポーツの成長産業化に大きな可能性  
**県内のスポーツ市場規模**は平成27(2015)年時点で  
**976億円**と平成23(2011)年比の**53.2%増**



## 沖縄県が目指す姿

### 基本理念

# 世界にはばたき躍動する 「スポーツアイランド沖縄」の形成

本県の地域特性やスポーツの持つソフトパワーを最大限活用した持続可能な沖縄の発展に向けて、県民や県外・海外から訪れた人々がともに享受できる、『世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成』を目指します。

「スポーツアイランド沖縄」とは沖縄の特性を活かした本県におけるスポーツ振興のコンセプトであり、以下の①～③が実現できているとともに、④の状態になっていることを言います。

- ① 県民が健康・長寿であるため生涯を通してスポーツを楽しむこと
- ② 国内外で活躍するトップアスリートを輩出すること
- ③ 我が国の南端のスポーツ交流拠点として年間を通じたスポーツコンベンションが開催されること
- ④ 沖縄の地理的特徴や恵まれた自然・温暖な気候、特色ある地域・文化・産業とスポーツを関連づけ、スポーツの持つソフトパワーを活用することにより、地域・経済の活性化につながる取り組みが全県的に行われていること

### 政策目標（施策展開）

本県のスポーツを取り巻く環境、スポーツの価値、スポーツの捉え方などが大きく変化している中、「新たな振興計画」においては、『世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成』として、スポーツ関連施策を一つの基本施策にまとめることにより、体系立てて整理することとなりました。

「施策展開」としては「県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備（インナー施策）」と「スポーツ関連産業の振興と地域の活性化（アウトター施策）」に分けており、スポーツコンベンションの推進、スポーツ関連産業のグローバル展開、県民のスポーツ参加の機会拡充等に向けて取り組むものとなっています。

# 第4章

## 施策と具体的な取り組み

### 施策体系

※下線は新規取り組み

インナー  
施策

施策		主な課題	主な取り組み
県民等が主体的に参画する スポーツ環境の整備	1 県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人のスポーツ実施率向上（特に女性）</li> <li>実施阻害要因の解消</li> <li>誰もがスポーツを楽しめる環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合型地域スポーツクラブの育成支援</li> <li>スポーツ・レクリエーションを通じた健康維持・増進</li> <li>学校体育の充実</li> <li><u>地域運動部活動の推進</u></li> </ul>
	2 県民の競技力向上・スポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツを行う児童生徒の増加</li> <li>未来のトップアスリートの発掘・育成・強化</li> <li>国体の順位向上</li> <li>競技力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニアアスリートの発掘・育成・強化</li> <li>小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実</li> <li><u>データを活用した科学的な選手育成</u></li> <li><u>オリンピック・パラリンピアン</u>の顕彰</li> </ul>
	3 スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の適切な管理・運営</li> <li>施設劣化への対応</li> <li>施設の共有化や学校体育施設の開放</li> <li>施設のバリアフリー化・多言語化</li> <li>施設情報の発信や利用予約等の利便性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化施設の計画的な改修・修繕</li> <li>誰もが利用しやすい施設の整備</li> <li>学校体育施設の有効活用</li> <li><u>スポーツ関連施設におけるICTの活用導入</u></li> </ul>
スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	1 スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツコンベンションの誘致・開催</li> <li>スポーツツーリズムの推進</li> <li>地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなキャンプ集積可能性が見込める競技の洗い出し</li> <li>アフターコロナを見据えた大学合宿等誘致</li> <li>大規模大会の開催ノウハウの蓄積</li> <li>「スポーツアイランド沖縄」のブランド力の向上</li> </ul>
	2 スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ関連産業の創出</li> <li>スポーツ医・科学拠点の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新事業創出促進に向けた新たな市場の創出</li> <li>IoTやビッグデータを活用した付加価値の創造</li> <li>多様な産業との連携構築による裾野の拡大</li> <li>先進技術の活用</li> <li>スポーツビジネスモデルの構築（DXの推進）</li> <li>スポーツ医・科学拠点の形成</li> </ul>
	3 スポーツ資源を活用したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタジアム・アリーナ及びスポーツチーム等の地域資源を活用したまちづくり</li> <li>一人も取り残さないスポーツへの「アクセス」の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツを通じた社会課題解決・地域活性化</li> <li>スタジアム・アリーナを核としたまちづくり</li> <li>県内のスポーツチーム、医・科学拠点等との連携</li> <li>地域での担い手の確保や質の向上</li> </ul>

アウター  
施策



## 県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進

- 総合型地域スポーツクラブへの支援による身近なスポーツ環境の整備に取り組みます。
- スポーツ少年団の普及や育成などスポーツの実施を促進します。
- 高齢者が体力や健康状態に応じたスポーツ・レクリエーションに親しむことができる環境づくりに取り組みます。
- 障害者のスポーツ参加に向けて、スポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境づくりに取り組みます。

## 県民の競技力向上・スポーツ活動の推進

- 沖縄県スポーツ協会を通じて、各競技団体が取り組む強化練習、対外試合、強化合宿を支援します。
- 沖縄県スポーツ協会と連携し、有望なジュニアアスリートの発掘、育成に取り組みます。
- 沖縄県スポーツ協会と連携し、科学的サポート体制を構築するなど、データに基づいたトレーニングの導入を推進します。

## スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実

- スポーツ・レクリエーション施設の機能向上に取り組み、安全確保対策と利用者の満足度向上に取り組みます。
- スポーツ・レクリエーション施設の利用環境について、バリアフリー・多言語化に取り組みます。
- 誰もが気軽にスポーツにアクセスできるよう、スポーツ関連施設におけるICTの活用導入を進めます。



## スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成

- スポーツイベント、キャンプ、合宿等のスポーツコンベンションを市町村、スポーツコミッション等の関係団体と連携して、誘致・開催に取り組みます。
- FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催に向けて受入体制構築、機運醸成に向けた取り組みを行います。
- 沖縄の自然環境や地理的優位性を生かしたスポーツを推進します。
- インナー施設とアウトナー施設にの双方に対応した施設・設備の充実を図ります。

## スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開

- スポーツに関連した高付加価値製品・サービス開発を促進します。
- スポーツビジネスモデル創出に向けた支援を行います。
- スポーツマネジメント人材を育成します。
- スポーツ・ヘルスケアサイエンス拠点の構築に向けて取り組みます。
- ハイパフォーマンススポーツセンターネットワーク連携機関の指定を目指す機関を支援します。

## スポーツ資源を活用したまちづくり

- J1規格スタジアムを整備するとともに、地域の賑わいの創出に取り組みます。
- 県内プロスポーツチーム等を支援するとともに、県内プロスポーツ選手等のトップアスリートを指導者としたスポーツイベント、スポーツ教室を開催します。
- スポーツを通じた多様な社会課題の解決や国際交流、国際貢献に向けて取り組みます。



## 施策の成果指標

施策	成果指標			
	指標	現状値	目標値	
<b>インナー 施策</b>  県民等が主体的に参画する スポーツ環境の整備	1 県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進	県民のスポーツ実施率	58.3% (R3年度)	<u>65.0%</u> (R8年度)
		障害者スポーツ活動団体数	32団体 (R3年度)	<u>33</u> 団体以上 (R8年度)
	2 県民の競技力向上・スポーツ活動の推進	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)	133人 (R3年度)	<u>228</u> 人 (R8年度)
		国民体育大会男女総合順位	42位 (R1年度)	<u>30</u> 位台前半 (R8年度)
	3 スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実	県立社会体育施設の利用者数	645,514人 (H30年度)	<u>680,000</u> 人 (R8年度)
	<b>アウター 施策</b>  スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	1 スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成	スポーツコンベンション開催実績	682件 (H30年度)
2 スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開		スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数	43件 (R1年度)	<u>100</u> 件 (R8年度)
		沖縄県におけるスポーツ市場規模	976億円 (H27年度)	<u>1,400</u> 億円 (R8年度)
3 スポーツ資源を活用したまちづくり	スポーツコンベンション参加者数 (県外・海外)	75,574人 (H30年度)	<u>75,574</u> 人 (R8年度)	

## 計画の着実な推進と進行管理

### 計画の着実な推進

本計画は、『世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成』を基本理念として、インナー施策とアウター施策という2つの施策を併存して効果を発現させるため、以下の取り組みを推進します。

#### 国や市町村との連携

国や市町村と連携しながら計画の推進に取り組んでいきます。

#### 横断的な取り組みの推進

計画を着実に推進するため、教育、福祉、保健、観光等の他分野との連携を図りながら、政策効果の高い取り組みを実現していきます。

#### 関係団体との連携

沖縄県スポーツ協会や沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県障がい者スポーツ協会、沖縄県レクリエーション協会、各競技団体、沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会等、関係団体と連携の強化を図ります。

### 計画の進行管理・評価・見直し

この計画の推進に当たっては、PDCAサイクルを繰り返すことにより、取り組みを継続的に改善していきます。

また、絶えずスポーツを巡る最新の動向を把握するとともに、学識経験者、スポーツ団体代表者、関係行政機関職員等で構成する「沖縄県スポーツ推進審議会」の意見を聴きながら進捗状況を点検します。

具体的には、沖縄県スポーツ推進審議会において達成状況を客観的に把握・評価するために設けた「成果指標」について、実績値、目標値を対比し、進捗状況を確認、評価していきます。

① 県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進



① 沖縄県  
文化観光スポーツ部（スポーツ振興全般）  
子ども生活福祉部  
（障害者スポーツ、高齢者スポーツ）  
保健医療部（健康づくり）  
商工労働部（仕事と生活の調和）  
土木建築部（道路、都市公園整備等）  
教育庁（学校教育、生涯学習振興）

① 各市町村 ..... スポーツ推進委員

① 沖縄県スポーツ協会

① 各市町村体育・スポーツ協会 ..... スポーツ少年団

① 総合型地域スポーツクラブ

① 沖縄県レクリエーション協会

② 県民の競技力向上・スポーツ活動の推進



② 沖縄県文化観光スポーツ部（競技力の向上）

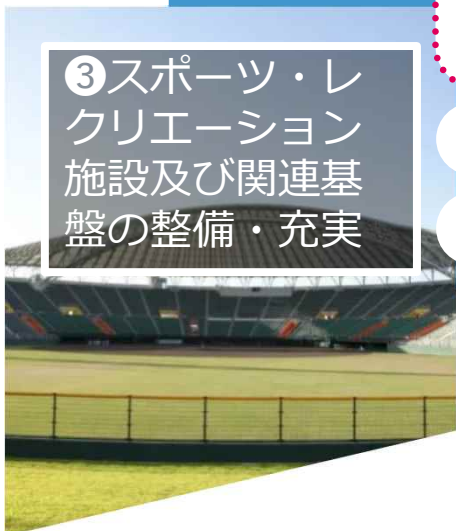
② 各市町村

② 沖縄県スポーツ協会 ..... 各競技団体

② 各市町村体育・スポーツ協会

③ 沖縄県  
文化観光スポーツ部（スポーツ振興全般）  
子ども生活福祉部（バリアフリー等）  
土木建築部（道路、都市公園整備等）  
教育庁（学校体育施設の活用）

③ スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実



③ 各市町村

③ スポーツコミッション沖縄



誰だって いつだって どこだって  
競ったって競わなくたって

楽しむために  
健康のために  
自ら選択する  
その身体活動は  
すべて  
スポーツだ



感動は海を越え 心を揺らす

Sports Islands  
OKINAWA